

平成30年2月  
袋井市議会定例会  
一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。  
Yahoo! や Google などの検索画面から  
袋井市議会を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ  
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

| 実施日      | 質問順 | 議員名   | 質問形式 | ページ |
|----------|-----|-------|------|-----|
| 3/6(火)午前 | 1   | 竹野 昇  | 一問一答 | 3   |
|          | 2   | 戸塚 文彦 | 一括   | 6   |
|          | 3   | 木下 正  | 一問一答 | 7   |
| 3/6(火)午後 | 4   | 浅田 二郎 | 一問一答 | 9   |
|          | 5   | 大庭 通嘉 | 一括   | 11  |
|          | 6   | 佐野 武次 | 一括   | 12  |
| 3/7(水)午前 | 7   | 戸塚 哲夫 | 一括   | 13  |
|          | 8   | 寺田 守  | 一括   | 14  |
|          | 9   | 伊藤 謙一 | 一問一答 | 15  |
| 3/7(水)午後 | 10  | 村井 勝彦 | 一問一答 | 17  |
|          | 11  | 近藤 正美 | 一括   | 18  |
|          | 12  | 岡本 幹男 | 一括   | 19  |
| 3/8(木)午前 | 13  | 山田 貴子 | 一括   | 21  |
|          | 14  | 高橋 美博 | 一問一答 | 23  |
|          | 15  | 森杉 典子 | 一括   | 25  |
| 3/8(木)午後 | 16  | 田中 克周 | 一括   | 26  |

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

| 質問順序              | 1  | 議席番号 | 5 | 質問者 | 竹野 昇 |
|-------------------|--|------|---|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |   |     | 答弁者  |
| 1                 | <p><b>非常勤嘱託・臨時的任用職員（市の非正規職員）の待遇改善</b></p> <p>約1,000人の市職員の内訳は、正規職員が半分、非正規職員が半分となっている。非正規の方の月収が約18万円から22万円、夏冬の特別手当を含めて年収が約220万円から300万円。</p> <p>妻子などの扶養家族がおれば、この年収では生活がぎりぎりと思われされる。</p> <p>市財政が厳しく、平成30年度すぐの改善は困難と思われるが、31年度から順次改善が図られるよう、1年をかけ様々な観点から待遇改善に向けての検討作業を進める必要がある。</p> <p>(1) 市当局は、非正規職員の待遇問題で、現状で良しとしているのか、改善の必要があると認識しているのか、見解を伺いたい。</p> <p>(2) 組織を維持する上で、大規模災害時の対応の上でも、非正規職員を減らし、正規職員を増やすことが大切と思うが、市当局の考えは。</p> <p>(3) 採用試験の年齢制限を、現行の30歳から例えば33歳あるいは職種により35歳まで引き上げ、非正規職員の中で意欲・能力がある人に正規任用採用試験を受けるよう勧め、1次試験に合格した人を優先的に正規任用できるようにできないか。</p> <p>(4) 上記に関連して、35歳以下の非正規職員が何人いるのか。</p> <p>(5) 非常勤嘱託職員の任用期間は1年。更新は2回。最高通算3年。定年まで働ける正規職員と比較すると、身分が著しく不安定である。実際には、「任命権者が、業務の性質又は知識・経験等により特に必要と認めた場合はこの限りでない。」との規定の適用を受け、長く働いておられる人もいと聞いているが、平均すれば何年在職されているか。また、3年を超えて継続任用されている職員の総数、20代、30代、40代の世代ごとの3年超え継続任用職員数を示してもらいたい。</p> <p>(6) 非常勤嘱託職員の産前産後休暇及び配偶者出産休暇は無給となっている。一方、正規職員は有給である。同じ仕事をしているにもかかわらず、この違いは問題である。子育て支援に熱心な袋井市政にとり、早急に改善を要すると考えるが、市当局の考えを問う。</p> <p>(7) 病気休暇は、公務・通勤時での負傷・疾病のみ有給となっているが、これも正規職員と適用が異なる。平等な扱いをすべきと考えるが、市当局の見解を問う。</p> |      |   |     | 市長   |

| 質問順序   | 1  | 議席番号 | 5 | 質問者 | 竹野 昇 |
|--|--|------|---|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）  |  |      |   |     | 答弁者  |
| <p>(8) 夏・冬の特別給は、年間2.6カ月。これも正規職員とは大きく異なる。1日8時間、正規職員と同じ職場で働いても、ボーナスは格差がある。働く意欲・同じ職場の人間関係・結束力を向上させるため、同じ支給率にしたらと思うが、いかがか。</p> <p>(9) 臨時的任用職員の時給は、一般職で900円。これは静岡県の最低賃金に近い。資格を有する保育士や幼稚園教諭でも1,040円。平成31年度から、例えば一般職で時給1,000円以上、子育てに関わる有資格者は1,500円以上となるよう検討すべきと考えるが、当局の考えを問う。また、特別手当は最大で14日分、約10万円となっているが、雀の涙である。31年度から大幅アップを図ることができないか。</p> <p>(10) 非常勤嘱託職員の雇用の継続に関し、民間では5年以上務めた人は希望すれば無期雇用に切り替えられる制度がこの4月から始まる。市でも民間に準拠し、長期雇用ができるようできないものか。</p> |  |      |   |     | 市長   |
| <b>2</b>   | <p><b>障がい者の雇用促進</b></p> <p>障がい者の法定雇用率が、4月から現行の2.0%から2.2%に引き上げられる。袋井特別支援学校の平成27年度高等部卒業者は、40人。就職希望者はわずか13人。就職できた者は9人。28年度37人の卒業者の中で、就職希望は15人、職に就けたのは11人。</p> <p>普通の高校と比べて、極めて就職率が低い。色々な原因が考えられるが、企業・事業所の理解、広くは世間の障がい者への理解が低いことが、この低い就職率につながっているものと思われる。</p> <p>障がいがあってもその人の能力に見合った仕事を得られる環境、社会の一員として活躍できる環境を整えるのは、国や県・市、つまり行政の責任である。</p> <p>(1) 市内の事業所が、法定雇用率2.2%を達成できるようにするため、行政として具体的にやれることはないか。</p> <p>(2) 障がい者が、それぞれの個性・能力に合った仕事を得られることは、本人の幸せはもとより、家族や社会にとっても幸せである。仕事（作業）の効率や生産性、利益といった基準だけでなく、障がい者を企業が受け入れ、健常者と共に働く環境が、健常者の意識変革につながり、社会全体の障がい者への深い理解＝共生社会の実現につながる。この点で、行政が具体的にやれることはないか。</p> |      |   |     | 市長   |

| 質問順序              | 1  | 議席番号 | 5 | 質問者 | 竹野 昇      |
|-------------------|--|------|---|-----|-----------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |   |     | 答弁者       |
| <b>3</b>          | <b>平成30年度市行政組織機構 学校教育課 学力向上推進係新設</b><br>学校教育課は、学力向上を図るため、その環境を整える責任を負う部署である。わざわざ「学力向上推進係」を設置しなくても、課の仕事内容に含まれている。<br><br>(1) 何故、新たな係を新設する必要があるのか。<br><br>(2) 具体的にどのような理念・考えに基づき、学校現場に係としての方針（学校で取り組んでほしい項目）を降ろしていくのか。   |      |   |     | 教育長       |
| <b>4</b>          | <b>中学生未来会議見直しの提言</b><br>中学生未来会議事業は、平成30年度で4回目を迎える。本会議場を使っての中学生議会は、市幹部職員が2日間これに拘束されることや、中学校側にとっても準備などに時間を取られ、重荷になっているとの話も聞く。そろそろ期間や内容など見直す時期に来ている。<br><br>(1) 2日間開催を1日に短縮することはできないか。<br><br>(2) 議会形式をやめ、討論会・懇談会形式に変更できないか。<br><br>(3) 3回実施した中学生未来会議で出された意見の中で、実際に市の事業に採用されたものがあるか。<br><br>(4) 18歳になれば投票する権利を持つ高校生が、袋井市をどのようなまちにしたいと考えているのか、若い世代の声を聞き、若者の意見を市政に反映させることは大切である。そこで、高校生も参加する未来会議とし、そこで出された意見や事業提案のいくつかを、当局・議員が議会で取り上げ、実現化を図れば、若者の市政への関心が高まるものと期待できる。この提言を当局はどう考えるか。 |      |   |     | 市長<br>教育長 |

| 質問順序              | 2  | 議席番号 | 19 | 質問者 | 戸塚 文彦 |     |
|-------------------|--|------|----|-----|-------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |    |     | 《一括》  | 答弁者 |
| <b>1</b>          | <b>家庭ごみの有料化</b><br>全国の市町村で家庭ごみの有料化が進展している。<br>家庭ごみの有料化は、「ごみの減量化」「ごみの発生抑制」「負担公平性の確保」「リサイクルの推進」「資源化」「住民の意識改革」「環境負荷の軽減」等につながる。<br><br>(1) 前回の質問で「少し景気の状態等を考えながら有料化について取り組んでいかなければならない」との答弁であったが、その後は、検討されたのか伺う。<br><br>(2) クリーンセンターの今後の大規模補修費見込み額は、平成30年度～33年度において総計約9億5千万円と伺っており、大きな財政負担である。行政経費の削減・有料化に伴う財源の有効利用としても有効である。早期の導入を検討すべきと提言する。 |      |    |     | 市長    |     |
| <b>2</b>          | <b>道路整備</b><br>市道掛之上祢宜弥線道路改築事業については、完了見込みが平成39年度以降となっている。しかし、この道路は地域の発展のみならず、近隣市との東西ネットワークの要の一つとして大変重要な路線である。<br><br>(1) これまでの取り組み状況を伺う。<br><br>(2) 現状の課題は何かを伺う。<br><br>(3) 早急な整備が必要と考えるが、その課題解決の見通し、事業完了見込み時期はいつ頃か伺う。   |      |    |     | 市長    |     |
| <b>3</b>          | <b>茶業振興・観光振興</b><br>「香りの丘 茶ピア」の活用について<br><br>(1) 農業活性化に関する意見書の中に「全国で名の知れた茶の複合施設である茶ピアについて、その優位性が活かされていない。今一度、茶業に関わる全ての分野が活用できるふくろい茶の総合拠点施設となるよう検討すること」とあるが、これまでに検討されたか。「本格的茶処体験ランド」としてJA等とも連携し、今一度、観光振興に活かすよう提言する。   |      |    |     | 市長    |     |

| 質問順序              | 3   | 議席番号 | 4 | 質問者 | 木下 正 |
|-------------------|---|------|---|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |   |     | 答弁者  |
| <b>1</b>          | <b>本市防災対策の取り組み</b><br>現在、日本のみならず世界全体が災害対策に重点を置いた政策を模索中である。<br>(1) 袋井消防庁舎・袋井市防災センター周辺道路の整備状況は万全か。<br>(2) 同報無線戸別受信機の配布対策は。<br>(3) メローねっと普及の現状と今後の普及対策は。<br>(4) 防災訓練にメローねっと活用は取り組めないか。<br>(5) 消防署や赤十字と連携して、地区の防災隊に普通（できれば上級）救命講習受講をさらに促せないか。 |      |   |     | 市長   |
| <b>2</b>          | <b>教職員への支援</b><br>政府はじめ日本国中で、道徳教育や国際化に向けての外国語教育など教育全般の見直しに関し対応中であるが、ハード面のみ先行するきらいがある。<br>(1) ICTを活かした教育の推進、タブレット導入によるベテラン教職員への操作指導などの支援は、しっかりできるか。<br>(2) 一貫教育に必要な「共通の視点」は、どこにあると認識して指導していくか。<br>(3) 学力向上推進係、来年度以降の目標と具体的計画は。             |      |   |     | 教育長  |
| <b>3</b>          | <b>放課後児童支援員等への支援</b><br>一億総活躍社会、女性が輝く社会である。女性の社会進出による児童の育成支援における配慮が不可欠となる。<br>(1) 放課後児童クラブ運営指針に対応する放課後児童支援員等への具体的支援は。<br>(2) 6年生まで受け入れできる定員を増やすとあるが、支援員等の人材の確保の現状と今後の対策を問う。<br>(3) 放課後児童クラブでの3 Days Worker's Officeの活用による支援員の補助は考慮できるか。   |      |   |     | 教育長  |

| 質問順序              | 3   | 議席番号 | 4 | 質問者 | 木下 正 |
|-------------------|---|------|---|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |   |     | 答弁者  |
| 4                 | <b>3大イベントを活用した茶業支援</b><br>袋井市は、米、メロン、お茶の産地である。「クラウンメロン」は日本各地で販売されている。お茶に関しては、森、掛川に知名度を先行されている。                              |      |   |     | 市長   |
|                   | (1) インターハイ、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックなどの開催をきっかけに、JAと協働（共同）して袋井茶を世界に発信すべきでは。   |      |   |     |      |
|                   | (2) 袋井市独自のラグビーワールドカップ用ロゴマークを、産物のお茶をモチーフにしてできないか。  |      |   |     |      |
|                   | (3) 大会開催中、茶ピアを会場としてお茶に興味のある外国人にお茶摘みやお茶手もみ体験、抹茶を点てる体験など種々の体験イベントを開催、世界中に発信すれば、茶業の発展支援とイベントのレジェンドになると考えられるが、JA等に対する支援は考慮できるか。 |      |   |     |      |

| 質問順序              | 4  | 議席番号 | 15 | 質問者 | 浅田 二郎 |
|-------------------|--|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |    |     | 答弁者   |
| <b>1</b>          | <b>犯罪のないまちづくり</b><br>近年の犯罪の特徴・傾向から、犯罪のないまちを目指す市の取り組みについて尋ねる。<br><br>(1) 刑法犯が大幅に減少している中で、増加傾向の「特殊詐欺」です。現状と市の対策を伺います。同時に、消費生活センターでの具体的相談に対する対応はどうなっていますか。<br><br>(2) 特別法犯でも、交通関連が減少する中、薬物、DV等が増えている。この状況をどう捉え、市はどう対策しているか。<br><br>(3) 再犯率が依然として高い状況が続き、「再犯防止」が重要な課題となっています。「再犯防止推進計画」の策定を求めるとともに、市としてできる具体的対応（協力雇用主の優遇、保護観察対象者等の直接雇用、社会貢献活動への協力）について検討を求めます。 |      |    |     | 市長    |
| <b>2</b>          | <b>核兵器廃絶に向けて</b><br>核兵器禁止条約の採択とICANのノーベル平和賞受賞を力に、草の根からの取り組みで核兵器廃絶のさらなる前進に力を注ごう。<br><br>(1) ICANのノーベル平和賞受賞をどう捉えているか。<br><br>(2) 「核兵器廃絶平和都市宣言」したまちとして、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」に市として取り組めないか。<br><br>(3) 中学生広島派遣の成果や参加者の気持ちに応え、より広く大きくする取り組みを。   |      |    |     | 市長    |
| <b>3</b>          | <b>セーフティネットとしての生活保護行政を</b><br>「最低限の健康で文化的生活の保障」は市の責任です。厳しくなる生活のなかで、最後のセーフティネットである生活保護行政は重要な課題です。<br><br>(1) 「景気の拡大が、住民の所得の向上に期待する」とのことだが、アベノミクスによる格差と貧困の拡大という認識はあるか。<br><br>(2) 生活保護の条件を満たしながら利用していない世帯が多いのではないか。困窮者の実態を調査し、低い「捕捉率」を高める努力を。<br><br>(3) 「生活保護は恥」という意識の解消、生活保護利用条件の周知、申請手続きの簡素化など、低い「捕捉率」を高め、必要な方が活用できる制度に。                                  |      |    |     | 市長    |

|                   |   |      |    |     |        |     |
|-------------------|---|------|----|-----|--------|-----|
| 質問順序              | 4   | 議席番号 | 15 | 質問者 | 浅田 二郎  |     |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |    |     | 《一問一答》 | 答弁者 |
|                   | <p>(4) 生活保護に関する市の権限と責任を確認するとともに、一人ひとりの状況を考慮した支給が行われているか。</p> <p>(5) 毎年の財産調査は、受給者の尊厳・プライバシーを侵害するもので適切ではないと思うが。</p> |      |    |     | 市長     |     |

| 質問順序              | 5  | 議席番号 | 20 | 質問者 | 大庭 通嘉 |
|-------------------|--|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |    |     | 答弁者   |
| <b>1</b>          | <b>企業誘致について</b><br>議会特別委員会からの提言を受け、本市企業誘致の候補地を選定するための「企業立地調査の結果概要」が報告された。結果を受け、今後の進め方を整理する必要がある。<br><br>(1) 宇刈地区、三川地区への企業誘致の可能性と今後の進め方は。<br><br>(2) 下山梨地区の開発の可能性は。<br><br>(3) 土橋地区の企業誘致に向けての市の考え方と調査後の進捗状況は。<br><br>(4) 第一三共跡地の企業誘致の見通しは。<br><br>(5) 商工会議所からの要望「内陸フロンティア開発構想」に対する市の考え方と進め方は。 |      |    |     | 市長    |
| <b>2</b>          | <b>教育問題について</b><br>今、教育を取り巻く環境は大きく変わりつつある。本市でも各種の教育課題に対し、万全を期して臨んでいくべきである。<br><br>(1) 新学習指導要領実施に向けての課題と対策は。<br><br>(2) 学校支援（レインボープラン等）の充実策は。<br><br>(3) ICT教育の進め方は。<br><br>ア 教育情報化推進計画の総括と見直しの考えは。<br><br>イ タブレット導入計画の前倒しの検討を。   |      |    |     | 教育長   |
| <b>3</b>          | <b>シティプロモーション推進について</b><br>平成28年度シティプロモーション室を新たに設置して、全国・世界を視野に本市の都市ブランド力を向上させ、移住・交流人口の増加につなげたいとしてきたが、その後の状況を伺う。<br><br>(1) 地名ブランド・本市の魅力度は全国何位か。当初のシティプロモーション計画がどの程度実現できたか。<br><br>(2) エコパを生かしたシティプロモーションの推進を。  |      |    |     | 市長    |

| 質問順序              | 6   | 議席番号 | 3 | 質問者 | 佐野 武次     |
|-------------------|---|------|---|-----|-----------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |   |     | 答弁者       |
| 1                 | <b>津波防災対策</b><br>浅羽海岸の市施工分の防潮堤造成工事は、平成31年度には海岸線の約80%が完了する予定である。より安全な防災対策の構築に向けて、再度、津波シミュレーションを作成すべきでは。<br><br>(1) 浅羽海岸の防潮堤完了後における内陸部や河川の開口部周辺に対する影響をはじめ、太田川や弁財天川における津波の遡上状況などを把握し、より安全な防災対策の構築につなげるため、再度、津波シミュレーションを作成する必要があると思うがどうか。   |      |   |     | 市長        |
| 2                 | <b>市南部地域の課題への対応</b><br>コンパクトシティ化の推進に加え、公共施設白書でも検討されている、施設の統合や廃止の推進という面では、人口減少により施設利用者が減る外縁部の地域が、真っ先にそれらの影響を受けることを懸念している。こうした中で、現在、様々な課題を抱えている、市南部地域への対応について伺う。<br><br>(1) 今回の機構改革により、地域拠点として位置づけられている、浅羽支所周辺の基幹施設である浅羽支所の機能が縮小された。支所機能を縮小した目的は何か。また、今後、担当する業務はどのようなものと考えているか。さらに、機構改革により、市民サービスの低下や職員の業務負担の増加につながることはないか伺う。<br><br>(2) 浅羽中学校は、施設の老朽化に伴い、新たな施設整備に向け、平成29年度、基本構想を策定し、平成30年度は基本設計に着手する予定であるが、幼小中一貫教育の推進にあたり、地域における児童数の状況によっては施設一体型による施設整備も含めて検討することも必要であると思うが、どのように考えているか伺う。<br><br>(3) 昨年11月、県教育委員会より、ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画が公表され、平成38年度を目途に、横須賀高校と池新田高校を改編する案が示された。<br>現時点では、どのような改編となるかは未定だが、今後、検討が進められる中で、生徒の進路の選択肢が制約を受けたり、通学等にかかる父母の負担の増加が危惧される状況となった場合、市長は磐田市や掛川市と連携し、県に対し要望活動等を展開していく考えはあるか伺う。 |      |   |     | 市長<br>教育長 |

| 質問順序              | 7  | 議席番号 | 9 | 質問者 | 戸塚 哲夫 |
|-------------------|--|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |   |     | 答弁者   |
| <b>1</b>          | <b>水田農業の振興策について</b><br>国による米の生産数量目標の配分が廃止され、生産者や地域の自主的な取り組みに委ねられる。これまで目標達成者にのみ交付されていた7,500円も今年からなくなる。どう需要調整に取り組むか、大きな課題となっている。<br><br>(1) 収入保険制度とは、どのような制度かその内容について伺う。<br><br>(2) 地区水田営農推進協議会において、平成30年度以降の取り組み方針について説明されたが、各地区の出席者の理解は得られたのか。<br><br>(3) 袋井産米の消費量アップのために、「ふくろいおむすびの日」の制定を提案するが。<br><br>(4) 袋井産米の県内販路拡大と高級ブランド米「ふくほまれ」の普及展開について伺う。 |      |   |     | 市長    |
| <b>2</b>          | <b>農泊の取り組みについて</b><br>農山漁村に滞在する旅「農泊」が脚光を浴びている。農泊は、農村に出向き、その土地の伝統や食、人とふれあう滞在型の旅行のことで、増え続けるインバウンドの受け皿はもとより、地域を元気にする取り組みである。<br><br>(1) 袋井市においても農泊は取り組むべきと思うが、検討されたのか。  |      |   |     | 市長    |

| 質問順序              | 8   | 議席番号 | 6 | 質問者 | 寺田 守 |
|-------------------|---|------|---|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |   |     | 答弁者  |
| <b>1</b>          | <b>旧市民病院看護師宿舎の現状</b><br>旧市民病院が閉鎖されてから5年になろうとしているが、看護師宿舎であった建物は残されたままになっている。現状の建屋の状態、利活用について伺う。<br><br>(1) 長期に渡って空室状態が続いているが、利用の実態はどうか。<br><br>(2) 耐震基準に照らし、建屋の強度はどうか。利用できる状態にあるのか。<br><br>(3) 建屋の改修計画、または解体を含めた再利用計画はあるか。   |      |   |     | 市長   |
| <b>2</b>          | <b>農地利用の課題</b><br>農業従事者の減少とともに、農業をめぐる状況は厳しさを増している。さらに減反政策の廃止により、耕作が難しい農地の荒廃化が懸念されている。こうした状況を踏まえ、農地転用に関連して市の考えを伺う。<br><br>(1) 農地転用を許可する場合には、隣接する地権者の意向を聞くことが求められると思うが、どこまで行っているか。<br><br>(2) 相続放棄の対象となり、所有者不在のまま荒廃化した農地が見られる。市として対策は考えているか。  |      |   |     | 市長   |
| <b>3</b>          | <b>まちの国際化の進展</b><br>来年のラグビーワールドカップ、再来年の東京オリンピックに向け、まちの国際化が進められている。市内でも外国人観光客や労働者の増加など、否応なく進行する国際化の中で、市の向き合い方について伺う。<br><br>(1) 国際言語である英語力の向上に市として取り組んでいるが、市民に対しどこまで期待しているのか。<br><br>(2) 国際化のためには、自らの歴史や文化を知ることが大切といわれるが、どのように考えるか。<br><br>(3) 海外の都市との友好都市や姉妹都市提携は課題も多いと思うが、提携にはどのような条件が整う必要があると思われるか。 |      |   |     | 市長   |

| 質問順序              | 9   | 議席番号 | 13 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
|-------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |    |     | 答弁者   |
| <b>1</b>          | <b>市内における火災に関して</b><br>昨年、市内で大変多くの火災が発生した。市内消防団や多くの方々に警防活動等ご尽力をいただいていると認識しているが、本年も残念なことに火災発生が続いている。火災は一瞬で市民の生命と財産を奪い、その防止・対応の重要性は言うまでもないが、それぞれの対応する所管範囲が警察や広域行政また袋井市や地域の消防団や自主防災隊にまたがるため、非常に複雑であるとする。ここでは、本市の情報や考えも含め、昨今発生した火災に関して伺う。 |      |    |     | 市長    |
|                   | (1) 改めて本年度の火災の発生件数及び火災発生理由の内訳を伺う。また発生件数に関して近隣市との比較を伺う。  |      |    |     |       |
|                   | (2) 火災における本年度の消防職員及び各消防分団の出動回数、また予防活動を把握しているか。  |      |    |     |       |
|                   | (3) 次年度の火災発生件数をどのようにゼロに近づけていくのか。また、どのような予防活動を行うのか。  |      |    |     |       |
|                   | (4) 多くの火災の現場で先頭に立つ、地域の消防団や自主防災隊の姿を目にする。地域を守るために活動しているが、火災現場に出向く際に当然、仕事や家庭を犠牲にしている場合も少なくない。近年の担い手不足を考えると、彼らのような共助・自助を行う人材への対応として彼らを支える家族や雇用関係にある企業への、市の「きめ細やかな対応」を求めるといえるか。  |      |    |     |       |
|                   | (5) 平成28年から静岡県は消防団活動に協力する事業所等に対する事業税の軽減措置制度を設けているが、市内消防団員の所属企業の控除適用された企業数は。   |      |    |     |       |
| <b>2</b>          | <b>本市のインバウンド施策に関して</b><br>国の観光立国推進基本計画の見直しに始まる訪日外国人4,000万人時代の到来と、2020年東京オリンピックでの特需を背景に、各自治体のインバウンド施策が注目される。本市においても国際化を進める市のビジョンと、本施策は密接な関係があると感じるため、以下を伺う。  |      |    |     | 市長    |
|                   | (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿地誘致として、近隣の浜松市はブラジルの柔道競技とパラリンピックは全競技を対象に誘致した。交通の便や、県施設エコパ、また過去にサッカー日本代表の合宿を誘致した経緯を加味しても本市も出場国の誘致を積極的に行うべきと考えるがどうか。また、課題をどのように考えるのか。  |      |    |     |       |

|                   |  |      |    |     |        |     |
|-------------------|--|------|----|-----|--------|-----|
| 質問順序              | 9  | 議席番号 | 13 | 質問者 | 伊藤 謙一  |     |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |    |     | 《一問一答》 | 答弁者 |
|                   | <p>(2) 外国人旅行者を本市に滞在させることを目的とした観光施策が必要だと考える。本市への宿泊を希望する外国人旅行者に対して、宿泊補助が検討できないか伺う。</p> <p>(3) 本市の現在進めるまちの国際化であるが、せっかく学んだ英語や多様性を発揮できる場は本市には少ないと感じている。国際観をもった人材が就業を希望する、本市の次世代の産業育成としてインバウンドの拡充を提案するがいかがか。</p> |      |    |     | 市長     |     |

| 質問順序              | 10  | 議席番号 | 2 | 質問者 | 村井 勝彦 |
|-------------------|---|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |   |     | 答弁者   |
| <b>1</b>          | <b>国本廃家電に係る取り組み状況について</b><br>国本地内の廃家電問題に関して、行政代執行により約540トンの破砕ガラス等が処分されたが、未だ約860トンもの破砕ガラス等が現地に残存している。今後、どのように対応するか。また、当該地の一部が農地であり、農地法の規定に基づく対応はどのように処理されたかについて伺う。<br><br>(1) 平成28年度に行政代執行により破砕ガラス等の一部は処分されたが、今後、残る破砕ガラス等の処分をどのように進めていくか。<br><br>(2) 行政代執行に要した経費の回収に向けて、今後、どのように取り組むか。<br><br>(3) 地域住民に対して、環境調査結果や処分の計画などに関して説明等の対応は行われているか。<br><br>(4) 当該地の一部が農地であり、これまで農地法の規定に基づきどのように対応されたか。<br><br>ア 農地転用の目的を変更した場合、所有者または事業者に対してどのように対応したか。<br><br>イ 当該事案に関して、農地法に基づく是正措置等は適正に処理されているか。 |      |   |     | 市長    |
| <b>2</b>          | <b>地域要望の取り扱いについて</b><br>地域から道路の補修や生活環境の改善などの要望がなされているが、厳しい財政状況から要望に十分対応できていないと思われる。今後、地域の要望にどのように対応していくか。<br><br>(1) 地域からの要望事項の処理は、どのような処理フローにより取り組んでいるか。<br><br>(2) 厳しい財政状況から、今後、地域要望に関してどのように対応を行っていくか。<br><br>ア 地域要望に係る予算は本年度どの程度支出されているか。また、平成30年度予算はどの程度計上する予定か。<br><br>イ 次年度以降に先送りされた要望事項の取り扱いは。<br><br>ウ 地域要望に関する今後の対応方針は。   |      |   |     | 市長    |

| 質問順序              | 11  | 議席番号 | 12 | 質問者 | 近藤 正美 |
|-------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |    |     | 答弁者   |
| <b>1</b>          | <b>ラグビーW杯2019に向けたまちづくりの進捗状況</b><br>2019年のラグビーW杯は、推進活動を通してスポーツだけでなく、文化・観光、国際化、まちづくり、市のPRなど多くの分野で活性化が期待できる。<br><br>(1) 本年度企画された「盛り上げ」や「おもてなし」の各事業の取組状況の結果はどうか。<br><br>(2) 本年度の成果や反省を踏まえて、来年度継続または新規の事業にどう取り組むか。   |      |    |     | 市長    |
| <b>2</b>          | <b>小中一貫教育の取り組みと課題</b><br>顕在化する学習意欲の低下や不登校の増加など教育課題を解決するために、小・中学校の円滑な接続を進める一貫教育は有効な手段の一つであると考えられる。<br><br>(1) 小中一貫教育のための運営体制である連絡協議会やカリキュラム検討委員会などの設置による内容と進捗状況はどうか。<br><br>(2) 経年変化に見る全国学力・学習状況調査結果による成果と課題、いじめや不登校・問題行動の最近の実態と対策はどうか。<br><br>(3) 小中一貫教育導入後の検証を、いつ頃、何を、どのように行うか。  |      |    |     | 教育長   |
| <b>3</b>          | <b>英語教育とICT化の取り組み</b><br>政府は「教育再生」の大きな目的の一つとして、「英語教育を変える」ことでグローバルな人材を育成することを掲げている。本市では前倒しで、義務化される小学校での英語教育をICT化とともに実施している。<br><br>(1) 英語教育により教員の負担が大きくなり、多忙化が考えられるが、それにどう対処するか。<br><br>(2) 英語力4技能の習得に向けて、生徒の英語力は上がると思われるが、本市の中学校英語教員の、授業での英語の発話による言語活動の実態はどのようなものか。<br><br>(3) 各学校のICT環境をこの先どの程度まで整備するか。それは経費として概算でどれくらいかかるか。 |      |    |     | 教育長   |

| 質問順序              | 1 2  | 議席番号 | 1 4 | 質問者 | 岡本 幹男 |
|-------------------|--|------|-----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |     |     | 答弁者   |
| <b>1</b>          | <b>地方創生交付金関係事業の総括について</b><br>平成27年度より実質的な取り組みが開始された地方創生交付金関係事業は、平成29年度が中間年度で、平成31年度が最終年度とされる。そこで、これらの関係事業の総括について、次の4点を伺う。<br><br>(1) 平成30年度の主要事業の概要や新聞発表など予算の主要説明資料から地方創生交付金関係事業の項目が消えているが、5箇年度かつ大規模な予算を費やす大事業であり、市民への説明も含め、終了まで関係事業全体を俯瞰できる態勢とすべきではないか。<br><br>(2) 今まで採択された事業費は、3億3,300万円余であるが、この事業規模は同規模の他市と比較し、どのような位置付けとなるのか。<br><br>(3) 市長公室が平成30年度の組織機構改変で、課として企画財政部内に所管替えされる理由の一つが「地方創生総合戦略」の各施策が実行段階に移行してきたこととされる。これからは実行に重きが置かれるのか、それとも更なる事業費採択に向けた申請がなされるのか伺う。対象事業年度は2年を残しているが、当初、市長公室で「地方創生総合戦略」を担当することとしたねらいに支障はないか。<br><br>(4) 対象事業年度の中間年である平成29年度が経過し、各事業の地方創生への効果を検証していく必要もあるものとする。関連各事業の袋井市政への定着を考える上では、既存の地方創生予算の中で完結したもの、地方創生交付金関連事業として継続させていくもの、他の予算に引き継ぎされるものに分けると効果的と考えられるかどうか。 |      |     |     | 市長    |
| <b>2</b>          | <b>地域支援事業と袋井市の地域づくり体制について</b><br>袋井市では、平成30年度から新しい長寿しあわせ計画がスタートし、地域包括ケアシステムの充実が主要事業として掲げられている。そこで、地域支援事業を主体とした袋井市の地域づくり体制について、次の4点を伺う。<br><br>(1) 第一層の生活支援コーディネーターは、現在、社会福祉協議会と袋井市の職員が兼務しているが、平成30年度からは、新たに公募の可能性も含め、体制強化の考えはあるか。袋井市全域の基盤固めをする重要な役職であり、早期の体制作りが必要と考えるが実情はどうか。<br><br>(2) 第二層の生活支援コーディネーターは、現在、地域包括支援センターに委託されており、平成30年度からは、予算も増額予定と聞く。コミュニティセンター単位の地域課題に対し、取り組み支援を強化する事項は何か。   |      |     |     | 市長    |

| 質問順序              | 1 2  | 議席番号 | 1 4 | 質問者 | 岡本 幹男 |     |
|-------------------|--|------|-----|-----|-------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |     |     | 《一括》  | 答弁者 |
|                   | <p>(3) コミュニティセンター単位での取り組みは、地域課題や地域ニーズの把握などが役割とされるが、一方で、地域での負担感増大も耳にする。市としての積極的な支援策が必要と考えるがどうか。</p> <p>(4) 地域の社会資源の把握と活用では、空き家の居場所としての活用や、担い手の掘り起しに対して、支援を行っていく考えはないか。具体的には、地域が推薦する人材に対し、ヘルパー資格取得補助や、有資格のヘルパーが中重度の要介護高齢者への対応にシフトすることを考えれば、軽度者に対する家事援助などを行う市独自の軽度者向けヘルパーの育成を行う考えはないか。</p>  |      |     |     | 市長    |     |
| <b>3</b>          | <p><b>浅羽中学校の建て替えについて</b></p> <p>浅羽中学校の建て替えについては、市内小中学校で最も老朽化が進行している校舎であるが、小中一貫教育の検討を待つとの理由で時期が延期され、平成29年度に基本構想が策定されることとなった経緯がある。そこで、これに関連して次の6点を伺う。</p> <p>(1) 浅羽中学校は「魅力ある学校づくり」の研究実践校であった。校舎建て替えに関しても、校舎の魅力づくり、基本的コンセプト、特徴があるべきと考えるが、それらは何か。</p> <p>(2) 平成29年1月の公共施設マネジメント特別委員会での企画政策課長の答弁では、北校舎は大規模改修、中校舎、南校舎は建て替えとの判断が示されているが、この方針に変更はないか。</p> <p>(3) 学校側の意見や学校運営協議会・保護者など関係者の意見を基本構想に反映させた経緯はあるか。</p> <p>(4) 建て替え中の代替校舎の手配はどのようにするのか。</p> <p>(5) 新施設の中に、コミュニティスクールの関係者に配慮した施設はあるか。</p> <p>(6) 幼小中一貫教育の検討との関連で建て替えを遅らせた効果はあったか。従来より、袋井市は、幼小中一貫教育の実施は、施設分離型によるとの見解であったが、傘下小学校の統合はないことを確認してよいか。また、傘下小学校との相互乗り入れ授業など、幼小中一貫教育に配慮した施設を設ける構想はあるか。</p> |      |     |     | 教育長   |     |

| 質問順序               | 13  | 議席番号 | 7 | 質問者 | 山田 貴子 |
|--------------------|---|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）  |   |      |   |     | 答弁者   |
| <b>1 全国体カテスト</b>   | <p>スポーツ庁は、小学5年と中学2年の全員を対象に実施した2017年度全国体カテストの結果を公表しました。その結果についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 県内では、小中女子体力最高更新だったが、本市はどうだったか。</p> <p>(2) 小5と中2の男子の平均値は、県内ではおおむね横ばいだったが、当市はどうでしたか。</p> <p>(3) スポーツ庁の担当者は、「競技性の高いスポーツでなく、楽しむことに重点を置いた『ゆるめの部活動』の設置も促していきたい。」と話されているが、当市の今回の結果を踏まえ、今後の方針を伺う。</p>  |      |   |     | 教育長   |
| <b>2 いじめと不登校問題</b> | <p>県教委が設置する専門家会議「県いじめ問題対策本部会議」が会合を開き、いじめの積極的な認知に向けて、会員制交流サイト（SNS）の相談窓口の開設を提案した。その件についてお伺いします。</p> <p>(1) 全国的に子どもたちの間では、会員制交流サイト（SNS）上で、いじめが多く起き、問題視されていますが、当市ではどうでしょうか、お伺いいたします。</p> <p>(2) SNSを使ったいじめをどう防ぎますか、いじめに気づいた時の対処法を考えていますか。</p> <p>(3) いじめが原因で不登校になる可能性も考えられますが、現在、不登校の生徒児童の原因は把握していますか、お伺いします。</p> <p>(4) 市内の小中学校の不登校児童数はさほど減少していませんが、原因は把握していますか、今後の対策と指導をお伺いします。</p> |      |   |     | 教育長   |
| <b>3 マイナンバーカード</b> | <p>総務省による2017年のマイナンバーカードの交付率調査で、県内35市町の最下位は袋井市です。その結果についてお伺いします。</p> <p>(1) 県の人口367万人割れの中、県下で推計人口の前月比増の上位1位に輝いた当市でしたが、マイナンバーカードの交付率は最下位と示された時は、どう思いましたか。</p> <p>(2) 今後の目標計画を立てましたか。お示してください。</p> <p>(3) カードの利点などのPRは、どのようにしますか。</p>   |      |   |     | 市長    |

|                   |   |      |   |     |       |     |
|-------------------|---|------|---|-----|-------|-----|
| 質問順序              | 13  | 議席番号 | 7 | 質問者 | 山田 貴子 |     |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |   |     | 《一括》  | 答弁者 |
| 4                 | <b>袋井商工会議所</b><br>旧袋井市と旧浅羽町が合併して14年目を迎えますが、未だに袋井商工会議所と浅羽町商工会が統合されていません。来年度予算も両商工団体に対しての補助金が減額される予定です。そこでお伺いいたします。<br><br>(1) 厳しい財政が続く中、両商工団体の統合について、市としては、どのように考えていますか。<br><br>(2) 袋井駅前にホテル兼商工会議所が移転する案がありますが、その案が決まった時点で、法律等、色んな問題がありますが、統合についても進めたいかがかと思しますので、市の考えをお伺いします。<br><br>(3) ふくろい遠州の花火の予算も削減されますが、唯一、当市にとっての目玉観光です。削減することで、警備など安全面で不備が発生しなければよいのですが、削減した理由をお伺いいたします。 |      |   |     | 市長    |     |

| 質問順序              | 14  | 議席番号 | 16 | 質問者 | 高橋 美博     |     |
|-------------------|---|------|----|-----|-----------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |   |      |    |     | 《一問一答》    | 答弁者 |
| 1                 | <p><b>「健康都市づくり」について</b><br/>新潟県見附市が進める「スマートウェルネスシティ」を参考に、本市の健康都市づくりについて伺う。</p> <p>(1) 健康づくりとまちづくり・都市基盤整備を関連付けることが必要ではないか。</p> <p>(2) 歩いて楽しいまちづくり、サイクルタウン推進事業など進めているが、市全体として連携が取れていないのではないか。</p> <p>(3) 「健康マイレージ制度」「ふくろいウオーキングキャラバン」など参加者が伸び悩んでいると思われるが対策はどうか。</p> |      |    |     | 市長        |     |
| 2                 | <p><b>「健康寿命」について</b><br/>県が発表する「お達者度」で本市の順位は低い。その理由と対策について伺う。</p> <p>(1) 「お達者度」の順位・結果についてどのように分析しているか。</p> <p>(2) 健康寿命を延ばすためにどのような取り組みをしているか。</p>   |      |    |     | 市長        |     |
| 3                 | <p><b>「子ども食堂」の取り組みについて</b><br/>全国で「子ども食堂」が広がっている。「子どもの貧困対策」「居場所づくり」に有効と考える。市の考えを伺う。</p> <p>(1) 市は、子ども食堂の取り組みをどのように捉えているか。</p> <p>(2) 設置・運営に助成金などの交付ができないか。</p> <p>(3) 公共施設も設置候補となると考えるがどうか。</p> <p>(4) 支援を必要とする子供たちへの周知など、行政の協力はどうか。</p>                          |      |    |     | 市長        |     |
| 4                 | <p><b>温水プールの利用について</b><br/>本市には3つの温水プールがあり、多くの利用がある。その利用の実態について伺う。</p> <p>(1) 温水プールの利用率はどうか。他市との比較はできないか。</p> <p>(2) プールの季節ごとの利用人数はどうか。</p>   |      |    |     | 市長<br>教育長 |     |

|  |    |      |    |     |           |     |
|--|----|------|----|-----|-----------|-----|
| 質問順序   | 14 | 議席番号 | 16 | 質問者 | 高橋 美博     |     |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）  |    |      |    |     | 《一問一答》    | 答弁者 |
| (3) 利用者の利用目的、利用頻度等の実態を把握しているか。<br>(4) 水玉プールが季節により利用開始時間を変えている理由は何か。<br>(5) 年間を通し、水玉プールの利用開始時間を朝9時にできないか。 |    |      |    |     | 市長<br>教育長 |     |

| 質問順序              | 15   | 議席番号 | 1 | 質問者 | 森杉 典子     |     |
|-------------------|--|------|---|-----|-----------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |   |     | 《一括》      | 答弁者 |
| 1                 | <b>市内小中学校での「がん教育」の取り組み</b><br>生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測されるがんは、重要な課題です。健康に関する基礎的教養として身につけておくべきものとなりつつあります。 <p>(1) 本市の、小中学校でのがん教育への考えを伺います。</p> <p>(2) 市内の小中学校で、現在行われているがん教育の取り組みを伺います。</p> <p>(3) 小中学校でのがん教育の課題と問題点を伺います。</p>  |      |   |     | 教育長       |     |
| 2                 | <b>女性特有の疾患の対応について</b><br>女性のライフスタイルの変遷に伴い、晩婚化、晩産化が進むとともに、子宮内膜症や子宮腺筋症など女性特有の月経関連疾患が増加しています。社会的に女性活躍推進を大きく掲げられている中、女性が健やかに活躍し、妊娠・出産できるためには、行政の取り組みが必要と考えます。 <p>(1) 本市では、女性の思春期、妊娠・出産期、更年期、高齢期などのライフステージごとの女性特有の疾患にどのような対応をしているか伺います。</p> <p>(2) 市内の小中学校の女子生徒や保護者への、女性特有の月経関連疾患の情報発信などの取り組みを伺います。</p> |      |   |     | 市長<br>教育長 |     |
| 3                 | <b>高校生への医療費助成について</b><br>静岡県は、子ども医療費助成制度を、平成30年10月から高校生年代まで対象を拡大する予算案を計上しました。 <p>(1) 本市では、子ども医療費助成制度を県に合わせて高校生年代まで拡大するか伺います。</p>   |      |   |     | 市長        |     |

| 質問順序              | 16   | 議席番号 | 10 | 質問者 | 田中 克周 |
|-------------------|--|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |    |     | 答弁者   |
| 1                 | <p><b>防災について</b></p> <p>2月10日に政府の地震調査委員会は、それまで70%程度としていた南海トラフ地震の発生確率を70%～80%に引き上げた。迫り来るXデーに向けた防災対策について伺う。</p> <p>(1) 昨年12月3日、袋井西小学校で西地区5連合自主防災隊住民を対象にした「会場型避難所運営訓練」が実施された。</p> <p>ア 今回初めての実施であったが、評価はどうか。</p> <p>イ 参加者の反応・意見はどうか。</p> <p>ウ 参加者アンケートの集計結果はどうだったか。また、アンケートから何をしますか。</p> <p>エ ファミリーパーテーション、段ボールベッド、段ボール簡易トイレ等、新たな避難所グッズが登場したが、各公会堂避難所に配布すべきでは。</p> <p>オ 今後の展開はどうか。</p> <p>(2) 熊本地震の被災地、熊本市では「発災5日目の4月19日から21日は支援物資搬入のトラックが95台、拠点集積所は大混乱し、一旦受け入れを中止する事態に陥った。」と報道された。</p> <p>ア 災害派遣受け入れ体制は、どうなっているか。</p> <p>イ 平常時から研修や図上訓練によるスキルアップが必要では。</p> <p>ウ 内閣府では、受援計画の策定を努力規定としているが、策定するべきではないか。</p> <p>(3) 岩沼市復興事業に携わった岩沼市の職員と2人の本市職員との報告会が開催されました。</p> <p>ア 派遣職員が得た知識、経験を他の職員も共有し、今後業務を進める上で役立てるために、どのような事をされますか。</p> <p>イ 「防災は知識が重要である。」と話されました。今後、市民に対して防災の知識をどのように広報していきますか。</p> |      |    |     | 市長    |

| 質問順序              | 16   | 議席番号 | 10 | 質問者 | 田中 克周 |
|-------------------|--|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） |  |      |    |     | 答弁者   |
| <b>2</b>          | <b>産業の振興について</b><br>ラグビーワールドカップ、東京オリンピック等のビッグイベントを活かした市内産業（農業、観光）の振興について伺う。<br><br>(1) ラグビーワールドカップの大会期間中に、再度、メロンサミットを袋井で開催してはどうか。<br><br>(2) 世界各国のメディアやVIPがエコパに集まるラグビーワールドカップを利用し、袋井市の農産物を世界にPRすべきと考えるがどうか。<br><br>(3) 東京オリンピック・パラリンピックの選手村への袋井産農産物の提供はどうか。<br><br>(4) エコパの4試合のラグビー観戦客を市内の観光や商業振興につなげるための方策は、何か考えておりますか。 |      |    |     | 市長    |
| <b>3</b>          | <b>社会教育団体の活性化について</b><br>袋井市の社会教育関係団体（市子連と市P連）の活性化と事務局の負担軽減について伺う。<br><br>(1) 地区子ども会連合会の現状と袋井市子ども会育成連合会（市子連）の現状及び改革の状況はどうか。<br><br>(2) また、事務局の在り方についてどう考えているか。<br><br>(3) 袋井市PTA連絡協議会（市P連）の事務局負担軽減の観点より、教育委員会への事務局移転を提案するがどうか。   |      |    |     | 教育長   |